

2021年度 愛知学泉大学シラバス

シラバス番号	科目名	担当者名	実務経験のある教員による授業科目	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
310012005	生活経済論 Living economy theory	濱本 幸宏		共通	2	必修	1後期

科目の概要

本科目は、専門的な知識と技能を身に付け、現代の子育て問題や教育再生、地域再生に取り組むことができる保育士・幼稚園教諭・小学校教諭として、常に自己研鑽に取り組み、自らの可能性を高めて社会に貢献する人材を育成することを目的として、経済の側面から生活を考えより豊かな生活を設計する人材を養成する科目です。生涯にわたる収入と支出について基礎的な知識を修得するために具体的な事例などを挙げて解説し、人の生涯生活をより豊かに安定したものとするための知識や思考力を学修します。本科目の学修を通じて社会人基礎力の向上を図り、地域社会に一層貢献する能力を養います。必要に応じてgoogleclassroomなどを使用して行う場合があります。

学修内容	到達目標
① 現代の生活経済について解説する。 ② 生活をする上で必要な経済の基礎的な知識について解説する。 ③ 家計の収支について解説する。 ④ ライフサイクルと生活に付随する債務について解説する。 ⑤ 将来のために貯蓄の重要性を開設する。 ⑥ 子供と費用について解説する。 ⑦ 老後を考えて、そのための生活設計の重要性を開設する。	① 現代の生活経済について重要性が分かり、将来の生活を考えることができる。 ② 生活をする上で必要な経済の基礎的な知識が分かる。 ③ 家計の収支について明確にすることの重要性を知り、支出について計画的考えることができる。 ④ ライフサイクルを考え、生活に必要な債務の重要性が分かる。 ⑤ 将来のために貯蓄の重要性が分かり、計画を立てることができる。 ⑥ 子供と費用について計画を立てることができる。 ⑦ 老後を考えて生活設計を立てることができる。

学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素

学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例

前に踏み出す力	主体性	現代の生活経済に関心を持ち、自主的に関係資料を読み、身近なもので関係のあるものを探す。
	働きかけ力	
	実行力	生活経済を学ぶために必要な経済学の基礎的な知識について入門者などで学習を始める。
考え抜く力	課題発見力	豊かに生活をする上で必要な経済的問題を発見する。
	計画力	
	創造力	持続的に豊かで便利な生活を送るために必要なものを考えてみる。
チームで働く力	発信力	豊かで便利な生活を送るための方策について自己の見解を発表することができる。
	傾聴力	自分以外の人々の発表を真剣に聞きそれを理解する。
	柔軟性	
	状況把握力	
	規律性	遅刻をしないなど授業を受けるために定められたの規律をきちんと守ること。
	ストレスコントロール力	

テキスト及び参考文献

教科書：重川純子『生活経済学』放送大学教育振興会、2020年。
 参考書：細川幸一『大学生が知っておきたい消費生活と法律』慶應義塾大学出版会、2019年。

他科目との関連、資格との関連

生活経済は人の生活全体に及んでおりまた生涯にわたり関係する問題です。よって、「生活学概論」「人間関係とコミュニケーション」「未来へつなぐアウトリーチスタートアップ」「未来へつなぐアウトリーチスタートⅠ～Ⅲ」「家族論」「社会学」など幅広く関連します。

学修上の助言

ある程度パソコンを使う技能と一定時間読書をする能力を必要とします。
 高等学校3年生までの政治経済や現代社会など社会科の科目の知識を必要とします。
 自己学習において疑問が生じた場合、googleclassroomなどを適切に使用して可能な限り双方通行の質疑応答をしたいと思います。

受講生とのルール

欠席や遅刻をせず勤勉に出席をし、積極的に講義に参加することが重要です。
 経済新聞などを読んでください。

【評価方法】

評価対象	評価方法	評価の割合	到達目標	各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント		
学修成果	学期末試験	0	①	⑥		
			②	⑦		
			③			
			④			
			⑤			
	平常評価	小テスト	30	①	⑥	授業中に学習した知識が習得されているか。 執筆要領を遵守しているか。 問いに対して真面目に考え、取り組んでいるか。 自らよく考え自己の見解が分かりやすく述べられているか。 レポートの実施はgoogleclassroomなどを使用して行う場合があります。
				②	⑦	
				③		
				④		
				⑤		
		レポート	60	①	⑥	執筆要領を遵守しているか。 問題意識が明確であるか、また目的が明確であるか。 基礎的知識が習得されているか。 資料などをよく調べているか。 自己の見解が述べられているか。 レポート課題の提示と解答の提出はgoogleclassroomのドキュメントを使用して行う場合があります。
				②	⑦	
				③		
				④		
				⑤		
成果発表（プレゼンテーション・作品制作等）	0	①	⑥			
		②	⑦			
		③				
		④				
		⑤				
学修行動	社会人基礎力（学修態度）	10	①	⑥	主体性：現代の生活経済に関心を持ち、関係資料を読み、関係のあるものを探しているか。 実行力：提出すべき課題などを課された場合は執筆要領を遵守し、提出期日を厳守しているか。 課題発見力：自分が豊かに生活をする上で必要な経済的問題点を発見しているか。 創造力：自分が持続的に豊かで便利な生活を送るために必要なものを考えているか。 発信力：豊かで便利な生活を送るための方策について自己の見解を発表することができるか。 傾聴力：生活経済について一生懸命聞くことができているか。 規律性：遅刻をしないなど授業を受けるために定められたの規律をきちんと守る事ができているか。	
			②	⑦		
			③			
			④			
			⑤			
総合評価割合		100				

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
授業中に学習した事項のみならず、自らが積極的に学習した成果を十分に発揮し、さらに自己の見解を導き出し、それを表現できる能力を習得していると評価できる場合。	基礎的知識を活用し、それを基にして自らが積極的に学習を進め、ある程度以上の専門的知識を習得していると評価できる場合。

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1	イントロダクション シラバスを用いて生活経済の学修の内容、学修の目的、学修の目標、学修の方法について説明を行う。また、学修の評価方法や評価基準についても説明する。そして、この科目の学修を通じて社会人基礎力の向上を図る学修方法などについても解説をする。	講義および内容に応じて教員との質疑応答を行う。	シラバスをよく読んで科目の内容、目的、学修の到達目標をよく理解すること。そして教室でのルールを厳守すること。	予習：教科書をよく読み生活経済とは何かについて調べること。 復習：シラバスをよく読むこと。講義中の注意を確認すること。	180	傾聴力 規律性
2	生活の経済のついて解説する。生活経済の概念をつかむ。生活経済は基本的に私たちが生活をする観点から経済を考えてみようというものであり特段に難しいものではない。ただ、今回は教科書を読むと、いろんな学者の引用が多くやや難しく感じるかもしれない。解説を行い理論に対する理解を促す。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行いさらに学生相互間での討論も行う。	生活経済の内容について概観が分かるようになり、自己の実生活に照らし合わせて生活経済の重要性を理解し、生活経済の理論を理解しようとする高い関心を持つことができる。	予習：家計について考え、生活経済の概念について調べてみる。 復習：テキストを読み直し、生活経済の概念について確認し、生活経済の構造、社会の経済循環についても確認する。	180	課題発見力 傾聴力
3	家計の概念と家計調査について解説する。収入と支出、フローとストック、物価の変動、家計の統計について解説を行う。これらの項目が個々の生活に大きく影響することを理解して、自己の生活に照らし合わせて考えてみる。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	家計の概念と家計調査について分かるようになる。収入と支出、フローとストック、物価の変動、家計の統計について分かるようになる。これらの項目が個々の生活に大きく影響することを理解して、自己の生活に照らし合わせて考えられるようになる。	予習：時代の変化と暮らしの変化に関心を持ち、家計から見た暮らしの変化について調べてみる。 復習：テキストを読み直し、家計の概念と家計調査について重要性を理解し確認する。	180	傾聴力 柔軟性
4	時代とともに変化する暮らしの変化について家計の観点から解説する。時代と共に変化する収入と支出について統計資料を用いて解説する。また世帯数と世帯人数についても説明する。平均消費性向について解説し、ストックについても解説する。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	時代とともに変化する暮らしの変化について家計の観点から分かるようになり、時代と共に変化する収入と支出について統計資料から読み取ることができ。平均消費性向の意味が分かり、家計におけるストックの変化が分かるようになる。	予習：自分の生活の中で生活に伴うリスクについて考え調べてみる。 復習：テキストを読み直し、全体として時代の変化と暮らしの変化について概観を把握し確認をする。	180	傾聴力 柔軟性
5	まず、ライフサイクルと経済について解説し生活の経営について解説する。また、生活設計主体とマネジメント領域について解説する。そしてリスクマネジメントについて解説する。さらに家計管理と生活設計の重要性について解説する。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	ライフサイクルと経済について高い関心を持ち、生活の経営、生活設計主体とマネジメント領域について分かり、そしてリスクマネジメントの意味を理解し。家計管理と生活設計の重要性が分かる。	予習：所得格差と貧困について関心を持ち調べてみる。 復習：テキストを読み直し、生活設計とリスクマネジメントの重要性を認識し自分の生活対応して確認する。	180	創造力 傾聴力
6	全体として賃金と所得格差と貧困についての解説する。時代と共に変化する就業形態、賃金、雇用形態の変化について解説する。最低賃金・失業給付について解説する。所得格差について解説する。貧困の意味と重要性について解説する。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	時代と共に変化する就業形態、賃金、雇用形態の変化について把握し分かることができる。最低賃金・失業給付について分かる。所得格差について分かる。貧困の意味と重要性について分かる。	予習：国内において家計の地域差があることに関心を持ち調べてみる。 復習：テキストを読み直し、全体として所得格差と貧困に関してその重要性を確認する。	180	課題発見力 傾聴力
7	生活の場としての地域について解説する。家計の地域差、特に都市と地方の差について解説する。地域によって差がある公共サービスと家計について解説する。また、地域環境と家計についても解説する。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	生活の場としての地域について分かる。家計の地域差、特に都市と地方の差について理解しその原因について関心を持つ。地域によって差がある公共サービスを知り、それが家計に及ぼす影響について分かるようになる。また、地域環境と家計についても分かる。	予習：消費社会について自分の生活を例にとり調べてみる。 復習：テキストを読み直し、全体として地域差の存在を理解しその原因と家計に及ぼす影響について確認する。	180	創造力 傾聴力
8	消費支出の変化と消費内容の変化について解説する。特に時代と共に変化する消費構造に注目する。消費場所の変化についても解説する。また、支払方法の変化についても解説する。そして、消費に及ぼす要因について解説をする	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	消費支出の変化と消費内容の変化について関心を持ち理解している。特に時代と共に変化する消費構造に注目している。消費場所の変化について関心を持っている。近年の支払方法の変化について分かっている。消費に及ぼす要因について関心を示している。	予習：消費社会の家計問題について関心を持ち具体的事例などを調べてみる。 復習：テキストを読み直し、全体として消費社会の変化と家計の変化について確認する。	180	課題発見力 傾聴力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9	現代の消費社会における消費者の借金問題について解説を行う。消費生活と消費者信用の仕組みについて解説する。消費者信用の現状について解説する。クレジットカードの仕組みについても解説する。多重債務問題とその対応について解説する。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	消費生活と消費者信用について分かる。消費者信用の仕組みについて理解している。消費者信用の現状について高い関心を持っている。クレジットカードの仕組みを理解している。多重債務問題とその対応について高い関心を持ち現実問題として分かっている。	予習：生活と金融の関わり合いについて関心を持ち調べてみる。 復習：テキストを読み直し、全体として消費社会における家計問題を現代の消費社会における消費者の借金問題として認識し確認する。	180	課題発見力 傾聴力
10	貨幣と金融について基本的な解説をする。現実に金融機関で販売されている金融商品について解説をする。金融サービスの相談と対策についても現状を紹介する。また、貯蓄と投資についても解説する。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	貨幣と金融について基本的な知識が身についている。現実に金融機関で販売されている金融商品について分かっている。金融サービスの相談と対策についても現状を知っている。また、貯蓄と投資についてある程度の知識を持っている。	予習：夫婦の経済関係について考える。 復習：テキストを読み直し、善田として生活と金融の現状について理解しその重要性について確認する。	180	発信力 傾聴力
11	結婚生活と家計および世帯と家計について解説する。妻と夫の家計・資産の所有について解説する。妻と夫の経済関係と政策については皆で考える。今回の学習内容は個々の家計により事情が異なる場合があるため専門知識の解説というよりも皆で考えることとする。	講義よりも教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論に重きを置きたい。	結婚生活と家計および世帯と家計について理解している。妻と夫の家計・資産の所有について明確な認識がある。妻と夫の経済関係と政策については自らの見解を持ち、それを第三者に説明できる。	予習：親子の経済関係について改めて考え調べてみる。 復習：テキストを読み直し、全体として妻と夫の経済関係について確認し、自己の見解を整理する。	180	主体性 創造力 発信力 傾聴力
12	親と子の経済関係を家計の観点から解説する。親の立場で子供の教育・養育にかかる費用について解説する。今度は子供の立場で親の扶養や介護の費用について解説する。親と子の立場から生活の経済を皆で考える。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	親と子の経済関係を家計の観点から理解している。親の立場で子供の教育・養育にかかる費用について今から考えている。今度は子供の立場で親の扶養や介護の費用について真剣に考えている。現実問題として親と子の両方の立場から生活の経済を考え自分の見解を持っている。	予習：老後の生活経済について関心を持ち事例などを調べてみる。 復習：テキストを読み直し、全体として親と子の経済関係について現実的捉え確認する。	180	主体性 創造力 傾聴力
13	高齢化と高齢者の居住状況について解説する。老後に対する不安の事例を紹介する。高齢者の就労と高齢期の経済生活について解説する。また、高齢期への備えについても解説する。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	高齢化と高齢者の居住状況について理解している。老後に対する不安の事例を知り理解している。高齢者の就労と高齢期の経済生活についてよくわかり問題点を挙げることができる。高齢期への備えについて理解し具体的な方策を考えることができる。	予習：生活経済と環境について関心を持ち事例などを探してみる。 復習：テキストを読み直し、全体として高齢期の生活と生活保障について確認する。	180	実行力 傾聴力
14	自然の環境と人の生活について解説する。生活の変化と環境について解説する。我が国の環境政策についても解説する。持続可能な生活について皆で考える。	講義および講義内容により必要に応じて教員と学生とで質疑応答を行い、さらに学生相互間での討論も行う。	自然の環境と人の生活について関心を持ちある程度理解をしている。生活の変化と環境について分かっている。我が国の環境政策についてある程度知識で分かっている。持続可能な生活について問題意識を持っており理解している。	予習：テキストの確認と疑問点の整理。 復習：テキストを読み直し、全体として生活経済と環境について意識をもって重要性を理解し問題点を確認する。	180	実行力 傾聴力
15	今までに学修してきた内容の振り返りとまとめ。重要点の整理と問題点に対する自己の見解の確認。	講義	講義全体を振り返り、内容を確認し、問題点を整理し、自学自習ができる。	予習：試験準備。 復習：テキストを基に総復習と確認。	180	傾聴力 ストレスコントロール力

能力名：主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性 ストレスコントロール力